

新たな外来種の侵入・拡散防止に関する地域課題 WG の報告及び進め方

1. WG の目的・検討事項

- ・ 侵略的な外来種が、新たに侵入・拡散してしまうのを防止するために必要な地域の取り組みを議論する。
- ・ 本地域課題 WG は、地域連絡会議の下部の検討枠組みとして位置づける。
- ・ 本地域課題 WG において議論した内容は、科学委員会又はその下部 WG の助言を仰ぎつつ、「侵入・拡散防止の対応方針」の改正案等としてとりまとめ、地域連絡会議において報告する。
- ・ 本地域課題 WG で議論した内容は、必要に応じてアクションプランに反映させる。

2. 外来種の侵入・拡散防止に関する地域課題 WG のメンバー

- ・ 地域連絡会議の構成機関・団体のうち、本地域課題に関連の深い以下の機関・団体を中心とし、各回のテーマに応じ、外部からの参加を呼びかける。

参加する立場	新たな外来種の侵入・拡散防止に関する地域課題 WG
行政機関	環境省 小笠原自然保護官事務所 林野庁 小笠原諸島森林生態系保全センター 東京都 小笠原支庁 土木課 小笠原村 環境課、産業観光課 (その他、調整中)
農業資材、農作物苗関係	東京島しょ農業協同組合 父島支店、母島支店
属島利用、調査関係	小笠原村観光協会、小笠原母島観光協会、小笠原野生生物研究会、 小笠原自然文化研究所、小笠原環境計画研究所
産業・物流関係	小笠原村商工会

3. 前回地域連絡会議以降の WG の開催

平成 28 年 2 月 17 日 9:00-11:00

■議事

- (1) 新たな外来種の侵入・拡散防止に関する地域課題 WG の今後の検討体制と検討事項
- (2) 水際対策についての検討
- (3) ツヤオオズアリ等への対応状況
- (4) 愛玩動物に関する検討状況について

平成 28 年 6 月 16 日 14:00-16:00

■議事

- (1) 土付き苗への対策
- (2) 外国から寄港する船への対応状況
- (3) 母島におけるツヤオオズアリ対策の進捗
- (4) 愛玩動物に関する検討状況について (報告)

4. WG の概要

(主な意見)

<地域課題 WG の今後の検討体制と検討事項>

- ・ 目標・課題に関しては各テーマ毎に専門家の集まる会議の場でしっかりと定めてほしい。
- ・ 科学委員会下部 WG の資料をそのまま使うなど、地域が考えていくという会議の構成になっていない。

- ・ 会議の議題が多い。焦点を明確にしてほしい。

＜外国からの寄港船への対応＞

- ・ 外国からの寄港船への対応については、非意図的侵入に対するチェック対策を準備しておく必要がある。
- ・ 今後も見据え、外国からの寄港船に際して必要なアナウンス文や立会いの方法等をある程度定型化して備えておく。

＜土付き苗への対策＞

- ・ 一般村民がイエシロアリ発生地域から母島に苗を持ち込むことは禁止されている前提で、母島島内での育苗等、苗の入手方法を含め地域課題 WG で検討する。制度面を含め、苗の温浴に関する集中的な議論を今年度中に行う。

＜ツヤオオズアリ対策＞

- ・ 防除計画は、状況の変化に応じ臨機応変に見直しを行う必要に迫られており、それを科学的に検討しオーソライズする場がないことが問題である。テーマに特化した WG に専門家も同席いただくといった形も含め、検討体制は見直しを行う。
- ・ 地域課題 WG では、集落域から遺産区域への拡散防止を防ぐ対策を主に検討いただけるよう、行政側での対策と並行して準備を進める。

＜硫黄島訪島事業におけるアカカミアリ対策＞

- ・ 母島から硫黄島へ積んでいった通船ボートにアカカミアリが付着し、直接母島に乗ってくる可能性についても、来年度の対策検討にあたり考慮する。
- ・ 対応のルーチン化にあたっては、訪島事業の日程設定に際し月齢を考慮したり、目視だけでなく知識がない人でも対応できる殺虫剤の使用を検討するなど、確実な防除を設計いただきたい。

4. WG の今後の進め方（案）

＜全体的な進め方＞

- ・ 地域における検討課題が何なのかを明確にし、事務局からの報告に終始せず、参加者間で議論が行われ課題解決に向かうよう進める。

＜土付き苗への対策＞

- ・ イエシロアリ発生地域から母島に苗を持ち込むことが禁止されていることの周知と、その中での苗の供給について検討する
- ・ イエシロアリ発生地域以外からの母島への苗の持ち込み、父島への苗の持ち込み、各島内の苗の移動に関し、温浴等の対策の必要性や実施体制を検討する。

＜ツヤオオズアリ対策＞

- ・ これまで「新たな外来種の侵入・拡散防止に関する地域課題 WG」の下に位置付けていた「ツヤオオズアリ作業部会」を、科学委員会下部の「陸産貝類保全 WG」の下に位置付け、防除の技術面に関し、専門家による評価や計画の検討を行えるようにする。
- ・ 「新たな外来種の侵入・拡散防止に関する地域課題 WG」においては、集落域から遺産区域への拡散防止を防ぐ対策を主に検討する。